

カキ「いさはや」の収穫後の軟化抑制						
<p>[要約] カキ「いさはや」の樹に対して 8月に 2回程度、塩化コリン系液肥のフルハート液剤を葉面散布すると収穫後の軟化をある程度抑えることができる。</p>						
長崎県果樹試験場・落葉果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成6年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

「いさはや」は果実重が 450gに達する大果のカキであるが、収穫後に軟化しやすく、日持ちが悪いのが欠点である。そこで日持ち性を向上させるため葉面散布の軟化抑制効果について検討した。

[成果の内容・特徴]

- ① 収穫後の果皮色（a 値）はフルハート液剤を 8月に15日間隔で 2回散布すると高く維持され、軟化による退色がみられない。
- ② 収穫後のハンディヒット値（果肉硬度）はフルハート液剤を 8月に 2回散布すると低く維持されており、軟化が抑制される。

[成果の活用面・留意点]

- ① 果実の軟化はフルハート液剤の葉面散布だけで完全に防止することはできないので、へたすきの防止など栽培管理面と併せて実施する。

[具体的データ]

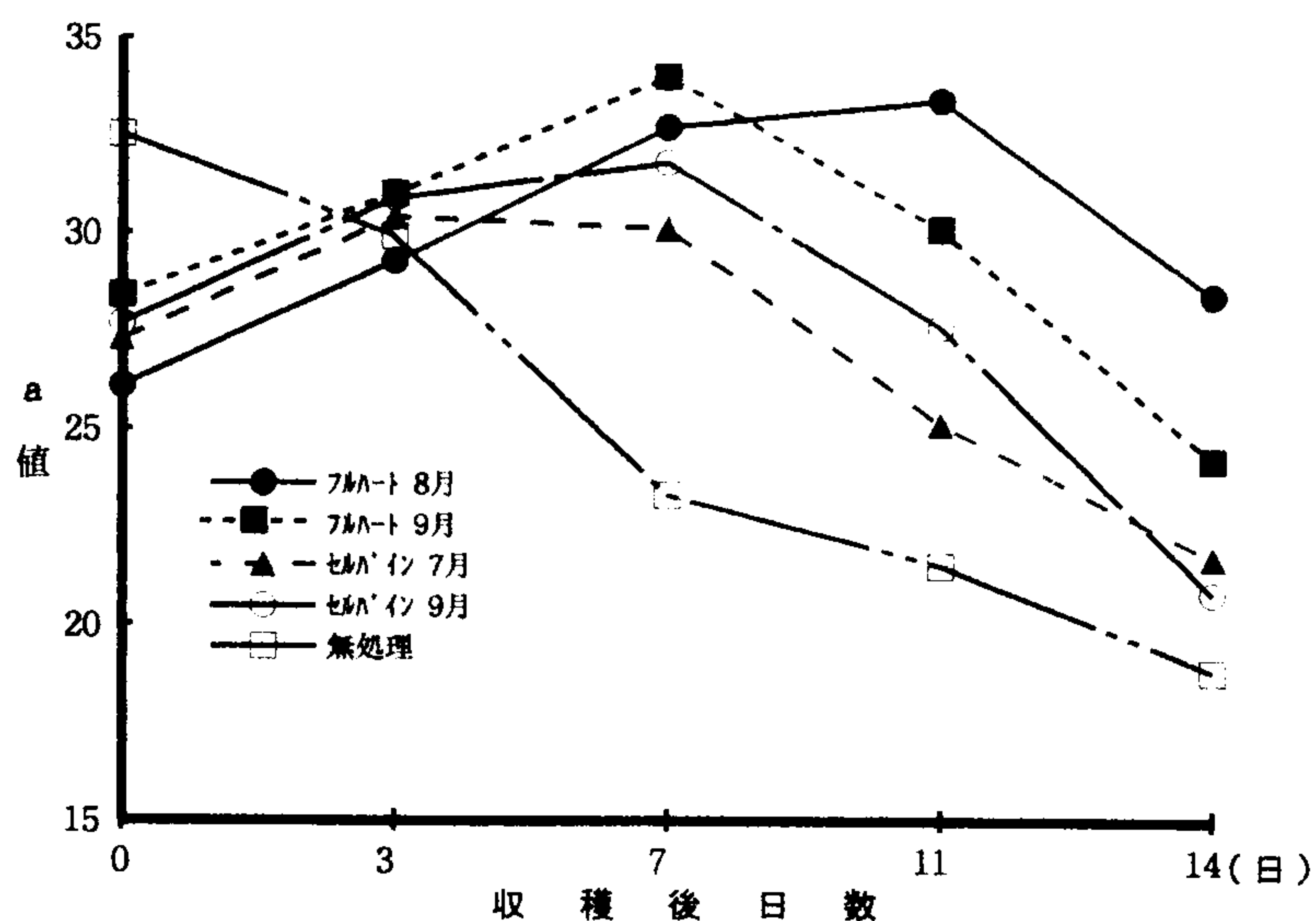


図1 薬剤の散布と収穫後のa値の推移
注 a値が低いほど果皮の退色が進んでいる

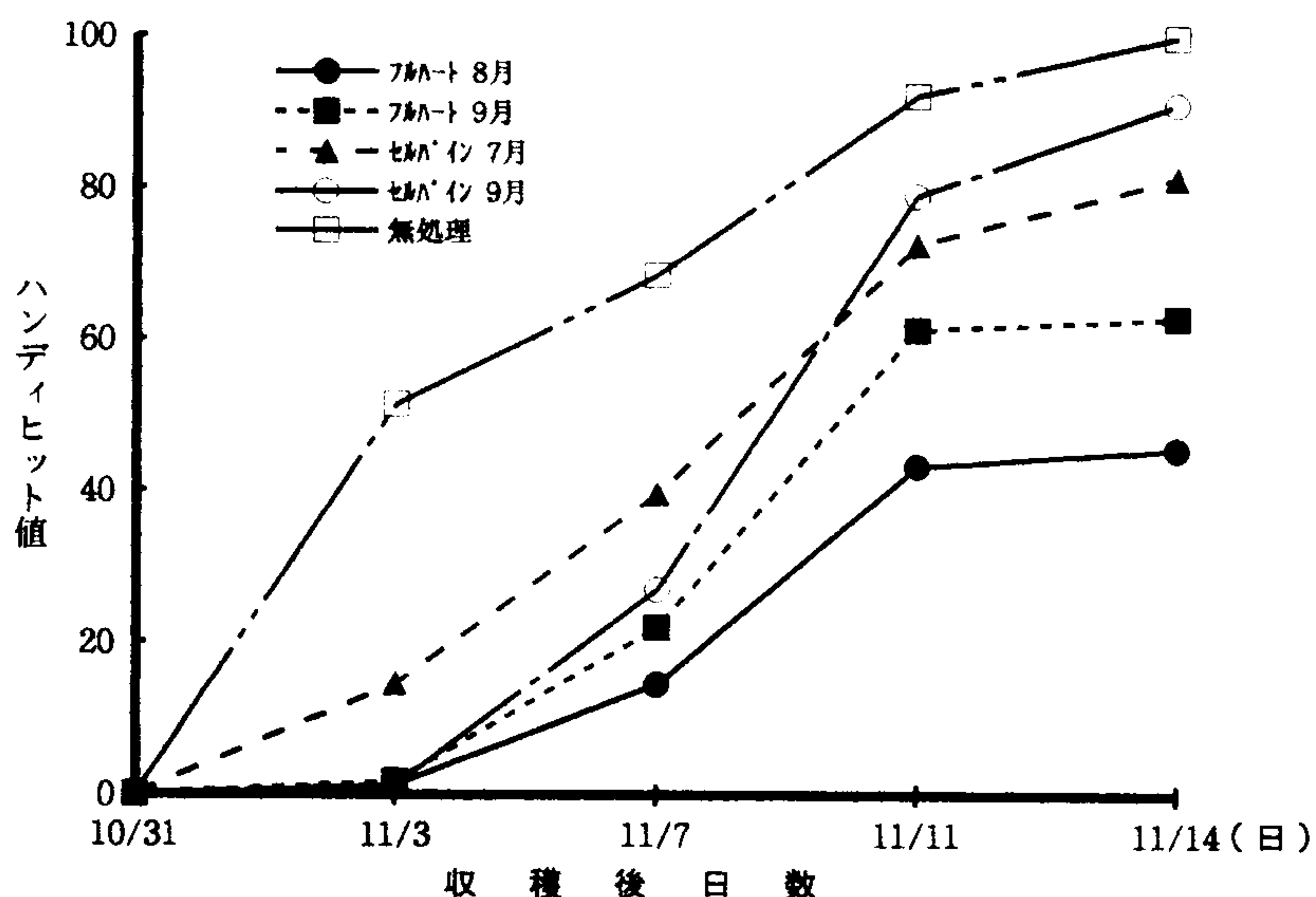


図2 薬剤の散布と収穫後のハンドヒット値の推移
注 ハンドヒット値が高いほど果肉の軟化が進んでいる

[その他]

研究課題名：特定果樹の栽培に関する試験

予算区分：県単

研究期間：平成6年度（昭和58年～）

研究担当者：林田誠剛，森田 昭

既発表論文等：平成6年度長崎県果樹試験場業務報告

残された問題点：軟化防止の原因の解明と軟化防止のための栽培管理技術の確立，流通形態の改善